



# 水害対策と地域の共助

台風シーズン前に、水害時の行動を再確認し、町全体で「水害時逃げ遅れゼロ」を目指しましょう。

吹塚新田自主防災会では、「自治会全員分の避難計画の作成」や「SMS（ショートメッセージサービス）」を活用した安否確認訓練など、先進的かつ実践的な防災活動を行っています。防災に対する思いを、吹塚新田自主防災会会長の矢部 英男さんと地域防災管理者の吉川 宗夫さんにお伺いしました。

## SMS

(ショートメッセージサービス)

SMSとは、電話番号を使って短いメッセージを送り取るサービスのことです。通信が混雑している状況でも届きやすく、災害時に強いのが特徴です。特別なアプリも不要で、携帯電話・スマホで確実に連絡が取れます。



## 鬼怒川水害発生 自主防災の 強化を決意

吹塚新田地区が自主防災を強化したきっかけは、平成27年(2015年)9月に発生した鬼怒川の水害です。鬼怒川周辺の地形は川島町に類似しており、発生当時は市役所庁舎と消防署が浸水、14人の死者が出ました。

そこで、当時、中山公民館の地域活性化プロジェクト「絆プロジェクト」で、先進的な災害対策をしていた茨城県常総市の根新田地区を訪問。根新田地区をモデルに、災害発生時にSMSで地区全員の安否確認を行うシステムを構築しました。

## SMSの導入で 見えた共助の あり方

地域の全住民に対して早急に危険を告知する際に電話を使うのは、時間も手間もかかってしまいます。

このシステムは防災委員が自宅外にいても、インターネット環境があれば情報発信ができます。被災者を孤立させず、励ます手段としても使えます。

また、安否確認用に、自治会全員分の避難計画を収集・整理しました。その際は、個人情報管理を徹底できるように心がけました。住民が共通した危機意識を持って協力できるような防災教育も行っています。

自治会員への調査で避難先を「未定」「学校」と回答した方には、区長や防災委員が伺い、町外に住む親戚宅などへの避難をアドバイスしました。

## 吹塚新田自主防災会

### 取組み

- ✓ 自治会員全員の避難計画・緊急連絡先を防災台帳に整理
- ✓ SMSによる安否確認体制の構築
- ✓ 災害時要支援者の支援体制の構築
- ✓ 外国人向けの防災案内(英語)を配付
- ✓ 集会所を一時避難所として利用するための備蓄品整備

### 年間予定

4月	・要支援者および支援者の確認 ・防災勉強会
6月	要支援者・支援者SMS送信訓練
7月・8月	SMS安否確認訓練
12月	防災備蓄品購入
1月	中山地区防災訓練
3月	防災資機材点検・交換

※訓練の際に安否情報未送信だった場合、防災委員が出向いて事情を伺っています。

### 注目!

SMSを活用した防災への取組み

茨城県常総市  
ねしんでん  
根新田地区

事前登録された携帯電話に、SMSで災害情報などを一斉送信する取組みを行っていました。

水害時にはSMSで鬼怒川の水位情報や避難喚起を発信し、リアルタイムで情報を共有。他地区よりスムーズな避難につながりました。避難や被災後の復旧支援に効果があり、後日、総理大臣表彰を受賞しています。

「自治会が本当に会員の安全を考えて提案する事であれば、会員の方も納得して協力してもらえるとと思っています。」



吉川さん

矢部さん

「地区内で、「お互いさま」の気持ちを持つことは、災害発生時・復旧時に極めて大きな力になります。」

## 早めに逃げよう！無事なら戻ればいだけ

「堤防がどこかで決壊すれば、川島町は全域浸水します。最大浸水深3m以上の地区での在宅避難は、家族の命が危ないです。同じ町民の立場として、皆さんには、この現実から目を逸らさずにリスクを直視し、家族を守ることを真剣に考えていただきたいです。」



次ページ  
『「50」「50」逃げる』へ続く

# 四方を川に囲まれた川島町で命を守るために

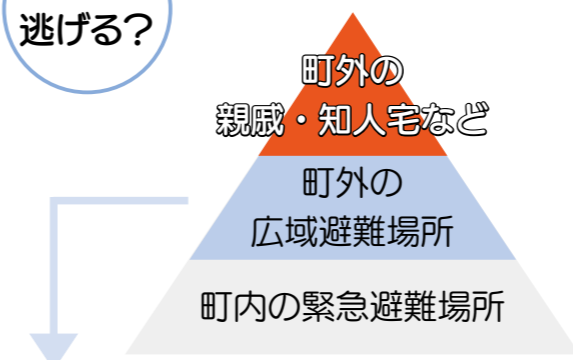
町では水害時の避難を、原則「町外への広域避難」としています。「いつ」「どこに」逃げるか、非常時に判断するために、正確な情報を入手する準備をしておきましょう。

## 『命を守る町外避難』

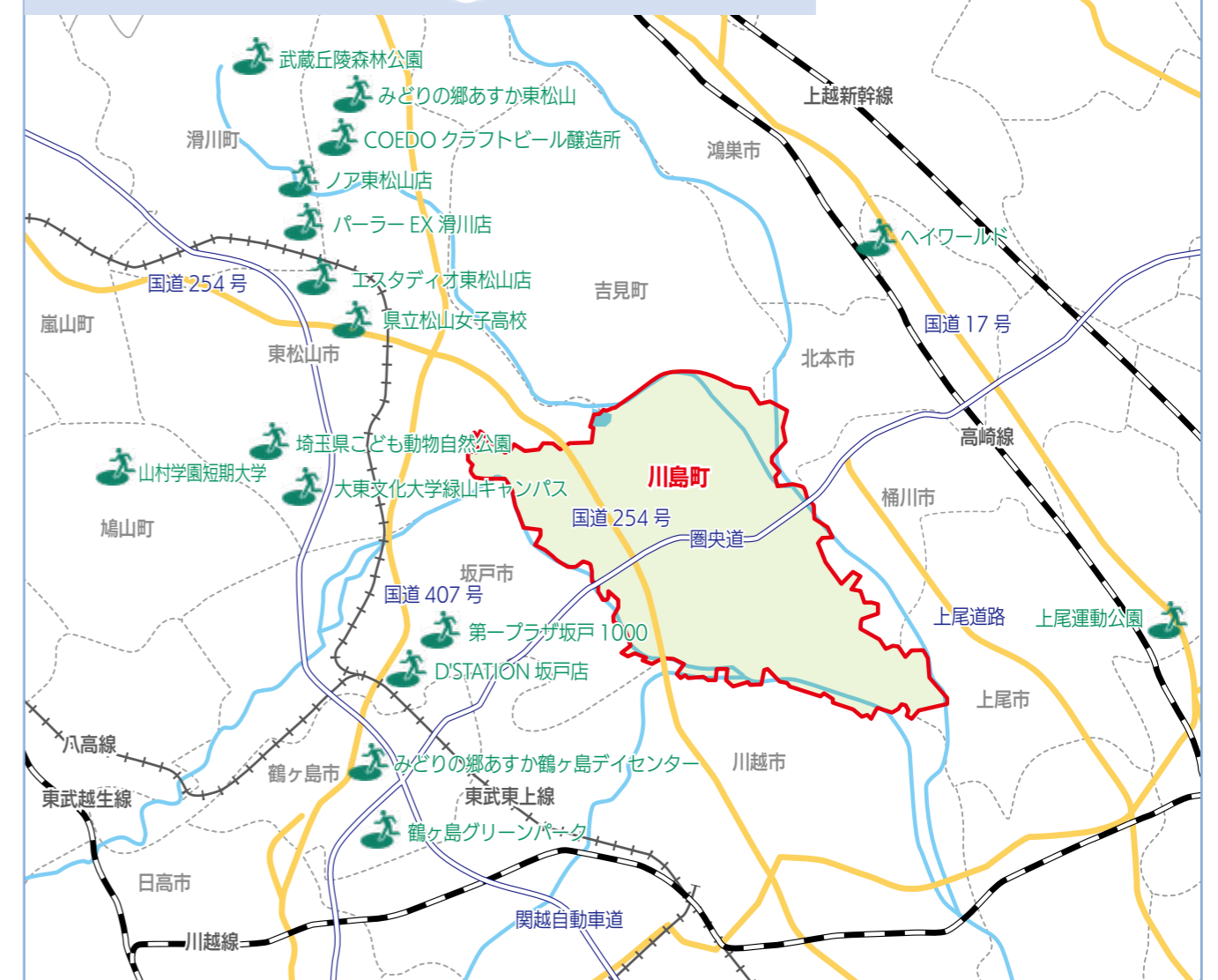
荒川流域に3日間で632mm雨が降った場合、最悪堤防が決壊するおそれがあります。その場合、町内全域が浸水し、3日から1週間程度浸水が継続するとされています。そのため、町では町外への広域避難を原則としています。万が一、町外へ逃げ遅れた場合に、町内の緊急避難場所を利用していただくようお願いいたします。

どこに逃げる？

### 避難先の優先順位



### 町外の広域避難場所



**災害情報の収集手段を事前に複数準備**

水害は、事前に情報を入手し、早めに行動することで、被害を最小限に抑えることができます。そのため、台風や集中豪雨によって水害が起こる可能性があるときは、複数の手段で情報を得られるように準備しておきましょう。非常時に自分の行動を判断するために役立つ手段をご紹介します。

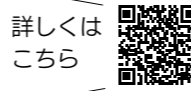
また、町が開催している出前講座などを利用して、日頃から災害時に適切な行動を取れるようにしておきましょう。



いつ逃げる？

## 防災気象情報が5月29日から変わりました

防災気象情報は、災害時に避難の判断をする上で非常に重要な情報です。情報を確認して早めの避難を心がけましょう。



### 避難のタイミング

**高齢者はココで避難！**

高齢者等避難 (警戒レベル3)

**全員必ず避難！**

避難指示 (警戒レベル4)

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
レベル4までに危険な場所から必ず避難！				
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

### 避難情報の収集手段

- 戸別受信機：防災無線の内容を聞けます。1台3,000円でお貸ししています。
- かわべえメール：登録方法は[こちら](#)
- LINE: @kawajima.town
- 川島町公式ホームページ
- 川島町ハザードマップ (町ホームページ)
- 川島町指定避難所・指定緊急避難場所 (町ホームページ)
- 避難場所の開設・混雑状況など (VACAN Maps)
- 気象サイト「キキクル」：洪水災害などの危険度を地図上で確認できます。
- ハザードマップおよびマイタイムラインの出前講座：町内在住・在勤の各種団体向けの、町職員による出前講座です。詳しくは総務課へお問合せください。

一人ひとりが『安全な町外へ逃げる（自助）』という計画を持っていないければ、自分や家族の命は守れません。この機会に、ご家族と避難先を話し合ってみませんか。